

X B A Y－1 取り付けマニュアル

X B A Y－1 とは・・・

XBAY-1 は、弊社製品「CaptureExpress SC400N1-L HDV（以下 SC400）」に映像や音声を入力しやすくなるための拡張アダプター・ユニットです（XBAY-1 には映像信号や音声信号を切り替える機能はありません）。

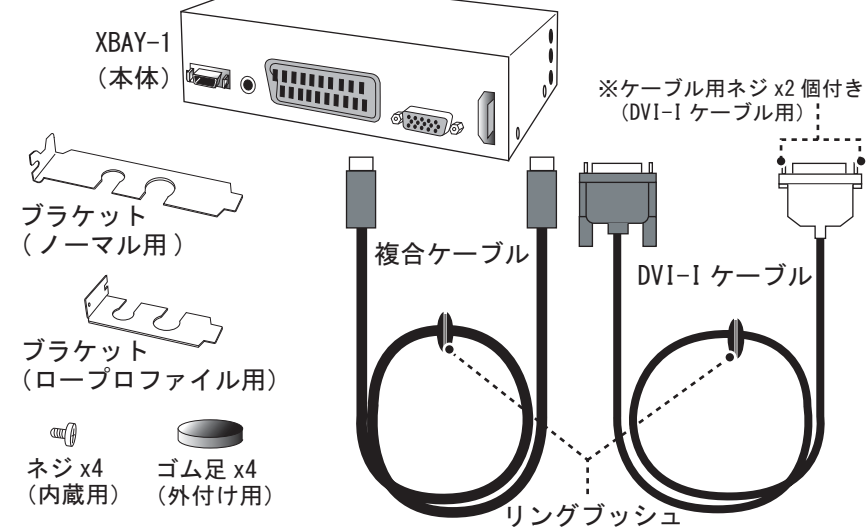
本書では、XBAY-1 をパソコンに取り付けるための手順を記載いたします。外付けで使用できることに加え、パソコンの 5 インチベイに内蔵することもできます。本書では、SC400 が接続済（インストール済み）であることを前提として解説しますのでご了承ください。

XBAY-1 をパソコンの 5 インチベイに内蔵される場合も、まず外付け「手順①」でご利用いただき、動作や使い勝手を確認されることをおすすめします。外付けの方が使いやすい場合もあります。

なお、5 インチベイに空きがあってパソコンに内蔵可能な場合でも、パソコンの構造上内蔵が困難な場合（パソコン内部でのケーブルの引き回しが困難、ケーブルを引き出すための PCI Express のスロット（ブラケット）に空きがない場合、もしくは 5 インチベイへの固定方式がバネやロック式でネジを利用できない場合、特定のネジ穴が無いなどの場合は、「手順①」の外付けでご利用ください。また、パソコンの分解や DIY に詳しくない方や自信のない方も、無理せず安全な外付け「手順①」でご利用ください。本製品の使用方法は弊社の「SC400」の取扱説明書・活用編もあわせてお読みください。

X B A Y－1 同梱品一覧

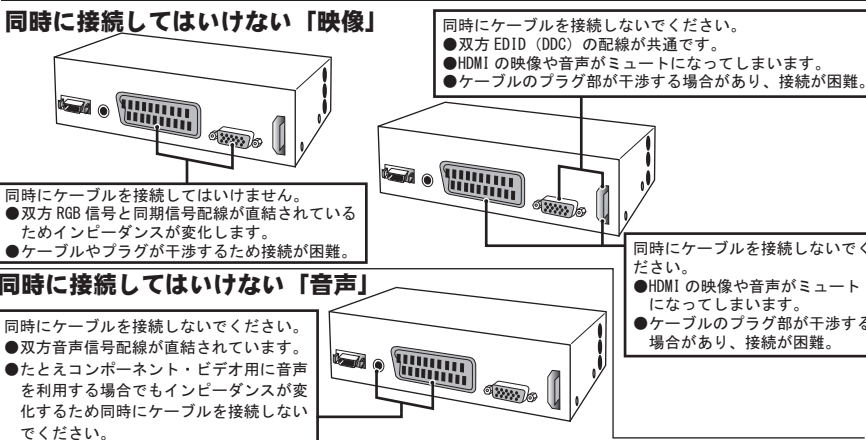
XBAY-1 の同梱品を記載いたします（SC400 に関する付属品を除く）。製品には万全を期しておりますが、欠品がある場合は、使用前に弊社へご連絡ください。



重要：ご使用前に必ずお読みください

- XBAY-1 の取り付け、取り外しに関しては、怪我をされないよう十分ご注意ください。
- パソコンを分解、XBAY-1 取り付けの前に、人体の静電気（帯電）を取り除き、パソコンの主電源を「オフ（切）」にするか、電源ケーブルを AC コンセントから取り外してください（電源ケーブル取り外し後 30 秒以上経過してからパソコンを分解してください）。
- パソコンの分解や取り付けに際し、パソコン側のメーカー保証が失われる場合がありますがご了承ください。また、XBAY-1 をパソコンに内蔵する作業の際に発生したパソコンケースなどの傷、塗装の削れなどの痛みは、製品の特性上やむをえず発生するものであるため製品保証（保証規定）の対象外です。ご了解・ご納得いただけない場合は、外付け「手順①」でご利用ください。
- 取り付けの際に（特にパソコンに内蔵し 5 インチベイに挿入した際に）発生する XBAY-1（や付属ケーブルの）傷やこすれ、塗装の剥がれなどは、DIY 製品の特性上避けることができないものであるため、製品保証（保証規定）の対象外です。これら取り付け時の傷や痛みにご了解・ご納得いただけない場合は、外付け「手順①」でご利用ください。
- XBAY-1 と SC400 の仕様上の制限により、すべての入力端子を同時に接続・使用することはできません。
- 本製品をご利用の際は、SC400 の取扱説明書もあわせてお読みください。なお、XBAY-1 は弊社製品 SC400（SC400N1-L HDV）専用であるため、単体で使用することはできません。他の機器には接続しないでください。
- XBAY-1 をパソコンに取り付ける前に、必ずパソコン内のデータや重要なファイルのバックアップを行ってください。

同時に接続できない入力端子



※21 ピン RGB マルチ入力端子（ケーブル側）に「物理的に音声の配線が無い場合」は 50Ω の負荷を受けないため、ライン入力端子に同時に接続することが可能です。
※ライン入力端子から音声を入力する場合は、ステレオ・ミニピンプラグで「3.5φ 3 極」のステレオ音声ケーブルをご利用ください。

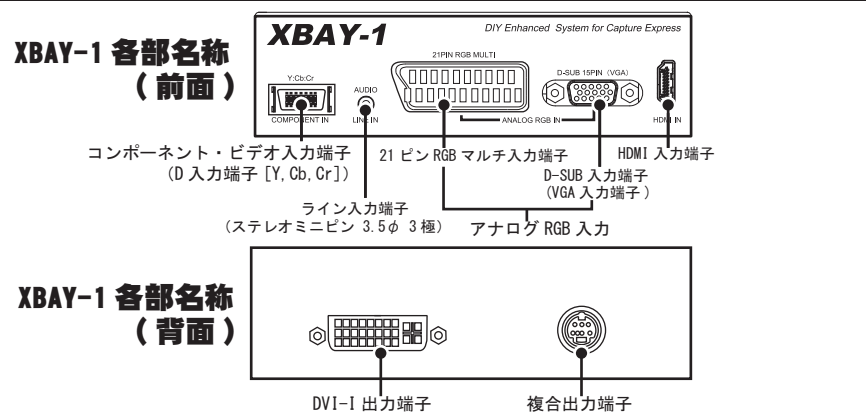
お問い合わせ先

株式会社電波新聞社
マイコンソフト事業部
<https://www.micomsoft.co.jp>
＜XBAY-1 の製品保証に関して＞

XBAY-1 は SC400 の付属品（部品）であるため、製品保証は SC400 の保証規定に含まれます。このため「XBAY-1」単品の保証書はございません。なお、本機を弊社ダイレクトショップなどにて部品（故障時の交換部品）として XBAY-1 を単品購入された場合は、初期不良期間（購入後 2 週間以内）のみのサポート対応となります。

Ver20240910A

X B A Y－1 の接続に関する解説



XBAY-1 の接続手順を解説します。SC400 を導入時に動作確認をする場合や、パソコンへの内蔵が困難な場合、及び外付けで使用する場合は「手順①」を参考にしてください。パソコンに内蔵する場合は、本書裏面の「手順②」、「手順③」を参考に、取り付けて下さい。なお、パソコンに内蔵する場合は、ネジ止めしたり、パソコンを分解する必要があるため、別途ドライバーなど工具をご用意ください。

手順①(外付け)

5 インチベイが無いパソコン
(または内蔵が困難な機種)

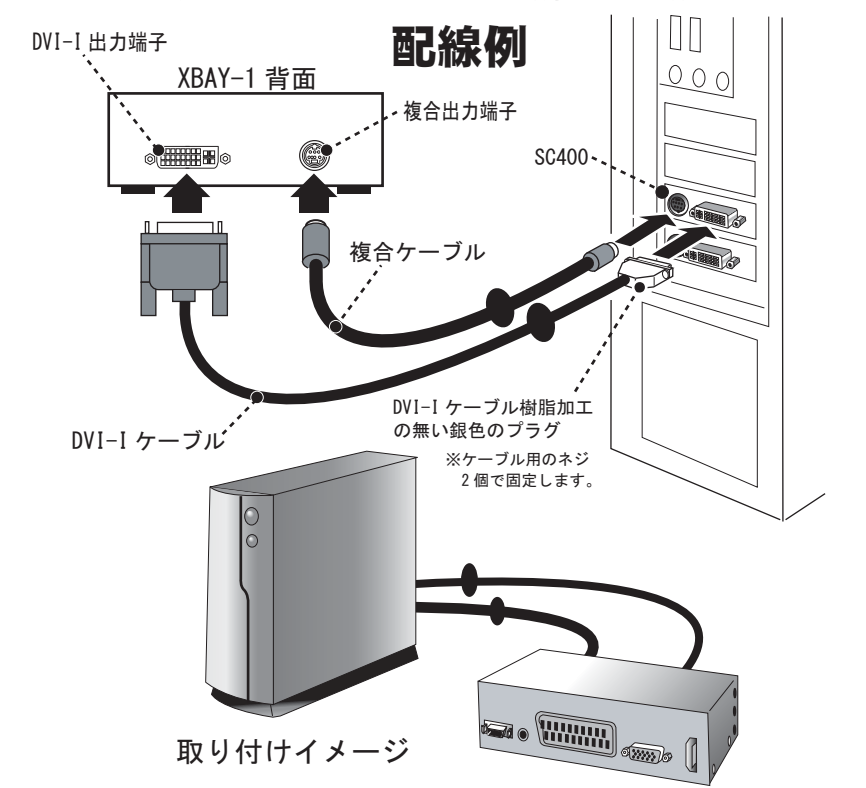
※パソコンケースの分解は不要です。
※外付けで使用する場合、ブラケットを使用しません。
ご注意：XBAY-1 をパソコンに内蔵する予定がある場合、ゴム足 4 個は取り付けないでください。
ご注意：長期間同じ場所に設置するとゴム足は劣化や可塑性などによって家具や他の機器の表面に移行（成分が混ざりあったり、移ること）することがあり、貼り付いてしまう場合があります。また、黒い色が付着する場合があります。これらの症状を、防止したい場合は、接地面に板（消耗品）などを敷くことをおすすめします。

取り付けイメージ

手順②(内蔵：横置き) → 本書の裏面を参照してください

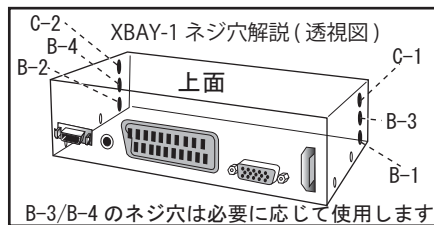
手順③(内蔵：縦置き) → 本書の裏面を参照してください

- ①XBAY-1 の底面にゴム足 4 個を貼り付けます。
(底面に刻印されている 4 つの「○」印に合わせてシールをはがして貼り付けます)。
- ②パソコンの電源コードを AC コンセントから取り外し、30 秒待ちます。
- ③「XBAY-1」の背面に同梱の「DVI-I ケーブル」と「複合ケーブル」を取り付けてください。
ケーブルは奥までしっかり差し込んで、DVI-I 端子はネジを締めてください。



手順②(内蔵：横置き)

通常の ATX/ マイクロ ATX パソコンへの内蔵
スリム型パソコン（横置き）への内蔵



<パソコンを分解する前に>

パソコンの PCI Express スロットの長方形の穴（狭い方）の寸法はパソコンによって微妙に異なります。パソコンを分解する前にこれらの寸法が「12.5mm」以上あることを確認してください。「12.5mm」以上の広さがあれば DVI-I ケーブルを通すことができます。寸法が「12.5mm」に満たない場合はケーブルを通せないため、5 インチベイに空きがあっても X-BAY-1 を内蔵できません。

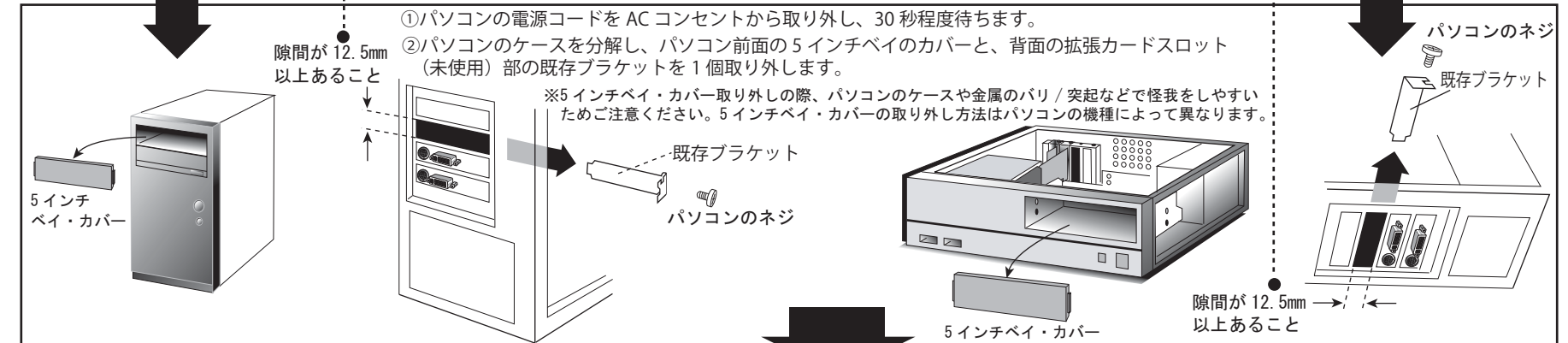
- ①パソコンの電源コードを AC コンセントから取り外し、30 秒程度待ちます。
- ②パソコンのケースを分解し、パソコン前面の 5 インチベイのカバーと、背面の拡張カードスロット（未使用）部の既存ブラケットを 1 個取り外します。

※5 インチベイ・カバー取り外しの際、パソコンのケースや金属のバリ / 突起などで怪我をしやすいためご注意ください。5 インチベイ・カバーの取り外し方法はパソコンの機種によって異なります。

既存ブラケット
パソコンのネジ

5 インチベイ・カバー

隙間が 12.5mm 以上あること



- ③「X-BAY-1」の背面に同梱の「DVI-I ケーブル」と「複合ケーブル」を取り付けてください。ケーブルは奥までしっかり差し込んで、DVI-I 端子はネジを締めてください。

横

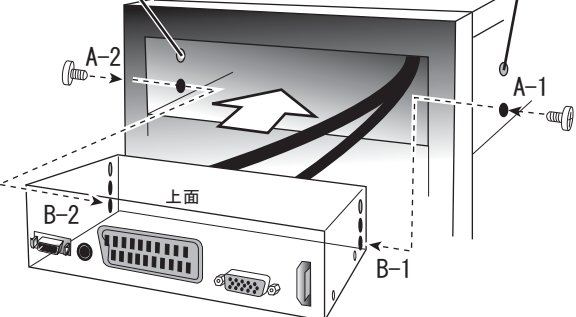
パソコンに内蔵した際、パソコンケース内部、X-BAY-1 本体やケーブルなどに多くの傷が発生する場合がありますがご了承ください。

- ④パソコン本体前面から「DVI-I ケーブル」、「複合ケーブル」、「X-BAY-1」の順に 5 インチベイに挿入してください（ケーブルが外れないようご注意ください）。
- ⑤「DVI-I ケーブル」と「複合ケーブル」を②でブラケットを取り外したパソコン背面の拡張カードスロットの穴から外に引き出してください。

※拡張カードスロットの穴が狭すぎてケーブルを外に引き出せない場合は、誠に恐れ入りますが相性と判断し「手順①(外付け)」でご利用ください。

- ⑥X-BAY-1 を 5 インチベイにネジで固定（ネジ固定は 2 ヶ所）してください（ネジ止めは、左右各一ヶ所「A-1」と「B-1」、「A-2」と「B-2」を合わせます）。

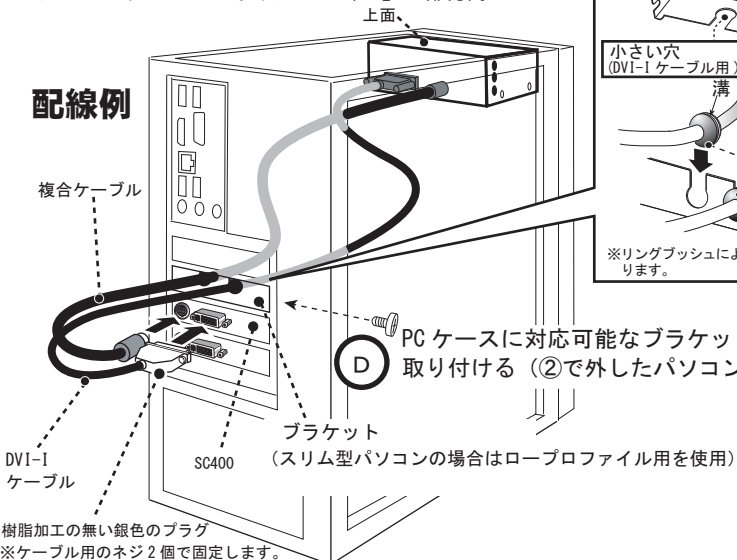
必要があればネジ止めする
必要があればネジ止めする



※左右（A-1、A-2）どちらか一方しかネジ止めできない場合は X-BAY-1 をしっかり固定できないため、ケーブル挿抜時にぐらつきが発生し、パソコンのケースや X-BAY-1 を痛める恐れがあります。この様ときは内蔵をあきらめてください。

- ⑦同梱のブラケットの U 字の谷間に各ケーブルのリングブッシュの溝を差し込み、ブラケットをパソコンのケースにネジ止めしてください（「D」の部分）。

配線例



- ⑧パソコンの外に引き出した「DVI-I ケーブル」と「複合ケーブル」を SC400 の入力端子に接続します。

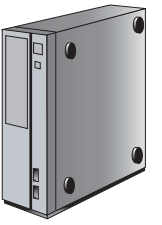
- ⑨分解したパソコンの「ケースを組み立て」して作業完了。

取り付けイメージ



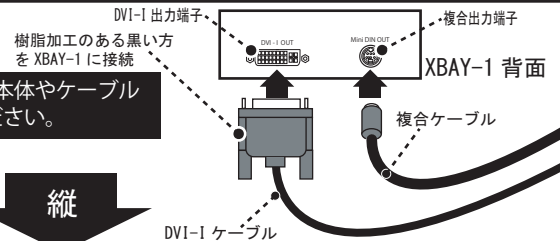
手順③(内蔵：縦置き)

スリム型パソコン（縦置き）への内蔵



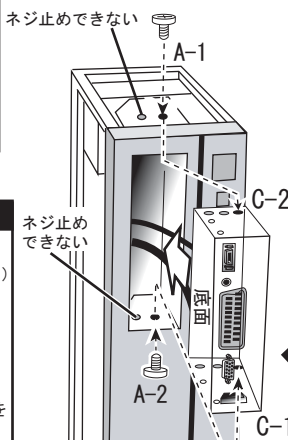
パソコンのネジ
既存ブラケット

隙間が 12.5mm 以上あること



縦

- ④パソコン本体前面から「DVI-I ケーブル」、「複合ケーブル」、「X-BAY-1」の順に 5 インチベイに挿入してください（ケーブルが外れないようご注意ください）。
- ⑤「DVI-I ケーブル」と「複合ケーブル」を②でブラケットを取り外したパソコン背面の拡張カードスロットの穴から外に引き出してください。※拡張カードスロットの穴が狭すぎてケーブルを外に引き出せない場合は、誠に恐れ入りますが相性と判断し「手順①(外付け)」でご利用ください。
- ⑥X-BAY-1 を 5 インチベイにネジで固定（ネジ固定は 2 ヶ所）してください（ネジ止めは、左右各一ヶ所「A-1」と「C-1」、「A-2」と「C-2」を合わせます）。※左右（A-1、A-2）どちらか一方しかネジ止めできない場合は X-BAY-1 をしっかり固定できないため、ケーブル挿抜時にぐらつきが発生し、パソコンのケースや X-BAY-1 を痛める恐れがあります。この様ときは内蔵をあきらめてください。



逆になって使いづらくときは・・・

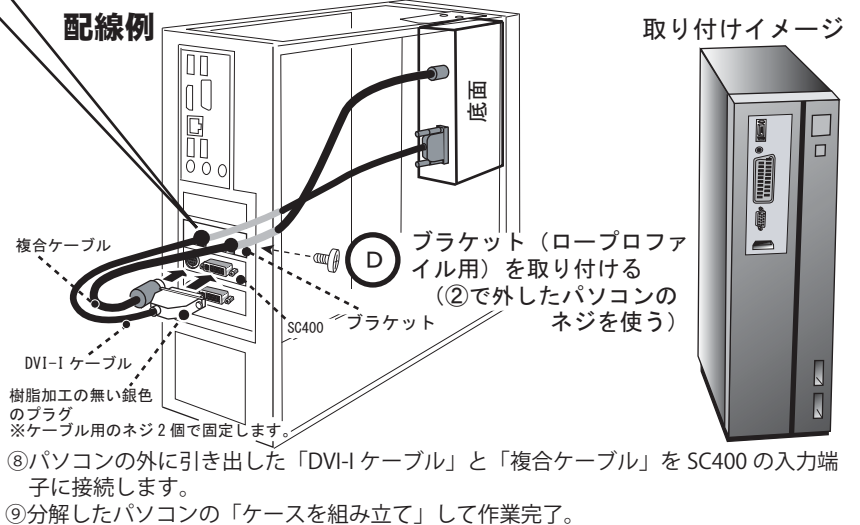


※回転した場合は左右各 1 ヶ所しかネジ止めできません

X-BAY-1 は 180 度回転（上下逆に）してもネジで固定できる構造になっています。使用時のケーブルの「接続のしやすさ」を考慮した上で向きを決め、5 インチベイに挿入してください。

- ⑦同梱のブラケットの U 字の谷間に各ケーブルのリングブッシュの溝を差し込み、ブラケットをパソコンのケースにネジ止めしてください（「D」の部分）。

配線例



取り付けイメージ



パソコンのケースのネジを締める前に再確認

DVI-I ケーブルと複合ケーブルは、パソコンの本体ケース内部を経由して配線します。配線を行う際は、冷却ファンや CPU クーラー、グラフィックスボードのクーラーなどの回転翼に接触しないようケーブルの引き回しに十分ご注意ください。

取り付け後の使用方法是「SC400」の取扱説明書・活用編をお読みください。